

コミュニティ・スクール通信

第3回学校運営協議会開催

10月18日(水)、第3回学校運営協議会を開催しました。

校長のあいさつの後、学校運営協議会委員の皆様には1学年の総合的な学習の時間を参観していただきました。

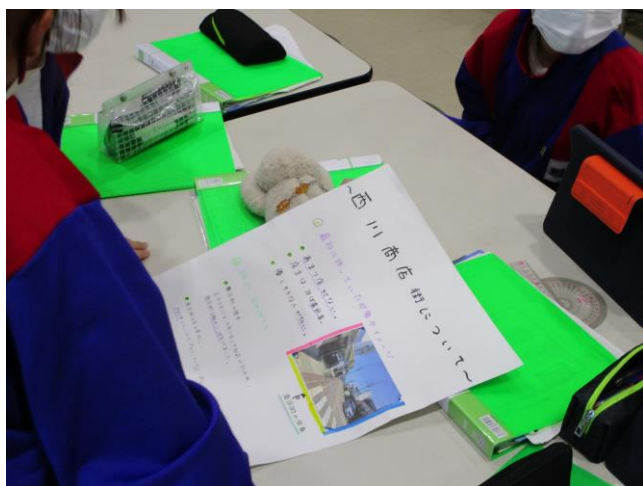
1学年は前期から地域学習を行っています。「持続可能な西川地域の魅力を発信する」をテーマに、それぞれの生徒が関心をもつことを調査し、地域の方々に伝えていくことを目的に学習を進めていました。自分たちのテーマに沿って調査する内容を決め、夏休み中に関連する施設などにインタビューに伺ったり、FAXで質問をさせていただき、回答をいただきました。



校長あいさつ



生徒の活動を参観するCS委員の皆様



資料を作成する生徒

この日、1学年は調査した内容をまとめ、校内で発表するために資料を作成していました。学校運営協議会委員の皆様にはポスターを作成する生徒、iPadを使ってプレゼンテーションを作成する生徒の様子を各グループを回ってご覧いただきました。生徒に質問をしてくださる委員の方もいらっしゃり、生徒と間近に触れ合っていただくこともできました。

生徒が学習している様子を実際にご覧いただくことができ、1学年が抱えている「西川」についても共有していただけたことと思います。委員の方からは「発表を見るよりも普段の姿が見られてよかったです。」と、ご感想をいただきました。



地域と学校の未来像～今できることは何か～

学校運営協議会委員、生徒代表で3グループに分かれファシリテーションを行いました。昨年度、生徒との話し合いで出された未来の西川地域と学校のイメージを実際の行動に落とし込み、実行するための話し合いをしました。活発に意見交換し、実際に校内外で何ができるか意見をまとめ発表しました。

昨年度まとめた意見

なりたい「西川」	そのためにできること
<ul style="list-style-type: none"> ・活気のある地域 ・町の中に人が集まる 場所がある ・特色のある地域づくり ・住みやすい町 	<ul style="list-style-type: none"> ・応援団の「あいさつ運動」を地域に広げる ・雪かきなど中学生にできることから始める ・「かさぼん」を使った独自ブランドを中学生がプロデュース
なりたい「西川中」	そのためにできること
<ul style="list-style-type: none"> ・地域と一緒に活動する学校 ・自分も他の人も尊重できる学校 ・主体的に行動できる学校 	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつを学校、家族、地域でする ・本物に触れる ・たくさんの人と触れ合う



発表の中で「小学校では地域と交流する機会があるが、中学校になると途切れてしまう。」という意見があり、各グループから「学校行事に地域の方に来ていただく。」や「地域のために中学生ができることを実行する。」「地域の歴史を学び、学んだことを学校内外に情報発信すること。」など、地域と共にある中学校になるためのアイデアが出されました。

実行に移せることとして、「あいさつ運動」や令和2年度から行っている「西中イルミネーション」を継続、拡大などが提案されました。このように学校運営協議会は地域と学校が共に発展するような活動をしていきます。よろしくお願いいたします。